

# 労働者党は19参院選に確認団体として参加します！

## 労働の解放をめざす労働者党の紹介

☆労働者党（正式名称は「労働の解放をめざす労働者党」）は、二〇一七年四月に結成された新しい党です。しかし、その前身は遠く一九六〇年代にさかのぼります。60年安保闘争の高揚と挫折の中で、左右の日和見主義、つまり右の日和見主義政党（共産党や社会党）にも左の日和見主義潮流（新左翼諸派）にも反対し、真の労働者党

の結成をめざすグループ（「全国社研」が誕生しましたが、それが私たちの出発点です。☆70〜80年代には、マルクス主義労働者同盟から社会主義労働者党へと組織は発展し、74年の参院選、全国区を皮切りに参院選、衆院選、地方選に十数回参加、80年の衆参同日選挙では全国で約22万の票を獲得しました。

☆しかし、その後の労働運動の後退や既成政党による少数政党排除の策動（供託金引き上げ等）などの逆風が吹く中で、「マルクス主義同志会」というサークルに後退せざるを得なくなりました。☆ようやく17年4月、私たちは20数年ぶりに労働者党を再建し、17年10月実施の衆院選には神奈川県11区（小泉進次郎の地元）にあくつ孝行を立て、三三三票（一・六％）を獲得しました。そして18年9月

の大会で、19年参院選に候補者10人（長野選挙区からは斉藤よしあき）を立て、確認団体として参加することを決定しました。☆安倍政権の横暴を許してきた不甲斐ない野党に代わる新しい労働者党の代表を国会に送るために物心両面のご協力をお願いいたします。必要です。是非とも労働者・働く皆さんの力をお貸しください。

労働者・働く者の政治的核となって闘う決意です

斎藤よしあき

大資本の利益を最優先している今の社会では、労働者・働く者は物心両面でぎりぎりの生活を強いられています。

安倍は、やれ「働き方改革」だ、やれ「全世代型社会保障」だと、口先だけのリップサービスやその場限りのばらまき政治によって国民の支持をつなぎ止めようとする一方、戦前の体制を美化し、9条改正や自衛隊の海外派遣等を画策し、「美しい日本を作る」などと時代錯誤の政治に国民を引きずり込もうとしています。

安倍政権に対する労働者・働く者の怒りは日々高まっているのに、今なお安倍政権が続いているのは、今の野党が無力で頼りにならないからだと私は考えています。私は、労働者・働く者の根底的な利益を代弁し、団結と闘いの結集軸になって闘っていく決意です。共に闘いましょう。

（セミナーで司会する斉藤さん-左の立っている人）



### <連絡先>

労働者党・斎藤よしあき事務所  
〒381-0015 長野市石渡148-11  
090-9851-9879/mcg-nagn@beige.plala.or.jp  
<カンパ振込先> ゆうちよ銀行  
普通預金 記号11130 □座番号37444521  
全国社研社長野支社

## 信頼できる労働者・働く者の代表を！

内部資料

### 斉藤さんを推薦します

斉藤さんは、労働者党の前身である一九七〇年代の「マル労同」の時代から今日まで、四十数年間にわたって、私たちの同志として活動してきた筋金入りの党員です。でも、写真を見ればお分かりいただけると思いますが、その風貌には「闘士」のイメージはなく、とても控えめで、温厚、生真面目な人柄がにじみ出ています。斉藤さんは、二十代に入党したその動機として、当時の機関誌『火花』の理論とその「真摯な姿勢」とに感銘を受けたからと言っていますが、

斉藤さん自身が正にその「真摯な姿勢」を貫いてきた人です。理論的問題の解決と党建設を中心課題にしていた「同志会」の時代には、斉藤さんは長野県の支部長として私たちをリードしてくれました。会議の度に、県北部から一〇〇キロを超える道のりを、当たり前のように通ってくるのですから、その気力と体力にはいつも敬服させられています。

斉藤さんはまた、県内の労働者・市民の活動家グループと積極的に交流し、その活動に参加して信頼を得ています。

労働者党が来年の参院選を闘うことを決めてからは、主宰している読書会のメンバーや交流のある市民活動家たちには勿論、県内の労組や市民団体等々への働きかけを強めてきました。それだけではなくありません。母親の介護や農作業など手を抜けない事情を抱えながらも、自ら候補者となって闘う決

### 斎藤よしあきの経歴

一九五〇年長野県栄村生まれ。

東京教育大在学中にマルクス主義に接近、学生運動・新左翼運動が四分五裂し類廃していく中で、機関誌「火花」に出会い、その真摯な姿勢と理論的卓越性に感銘、活動に参加。

一九七五〜二〇二三年、長野県の県立高校社会科教師。八〇年代後半の「日の丸・君が代」闘争では分会役員等として先頭になって闘う。バブル崩壊後の生活悪化の中、様々な問題を抱える生徒に寄り添い、共に課題に取り組む。

二〇〇七〜一七年、長野県組織の支部長。「信州・働く者のセミナー」を立ち上げ、討論会、シンポジウムなどを組織。現在、長野市内で月一回「資本論」読書会を開催。

## 労働の解放をめざす労働者党(略称:労働者党)

参議院長野選挙区予定候補

# 斉藤よしあきを国会へ

